

まだ残る 差別をたちきる 主役はあなた

武庫しののめ

武庫地区人権啓発推進委員会

尼崎市南武庫之荘 11 丁目 6 番 15 号

尼崎市立地域総合センター南武庫之荘

電話・FAX 6438-5875

武庫地区人権啓発推進委員会総会と 特別講演会が開催されました。

平成二十八年六月八日（水）、尼崎市武庫支所3階ホールで平成二十八年年度武庫地区人権啓発推進委員会総会が開催され、今年度、所属する各団体から選出された推進委員、協力委員、人権啓発リーダー等、武庫地区の人権啓発推進活動を最前線で担われる方々三十名以上が出席されました。

総会終了後、社会福祉法人三田谷治療教育院治療教育室副室長の藤川喜正さんをお招

きして、特別講演会「障害者差別解消法について」就労支援から」を開催しました。講演では、この四月一日から新たに施行された「障害者差別解消法」（正式名称「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」）について、詳しく解説していただきました。

この法律は、障がいのある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくること



を目的とするもので、具体的には、「不当な差別的取り扱いの禁止」や、「合理的な配慮の提供」を求めています。「不当な差別的取り扱いの禁止」とは、国や県・市などの役所や会社、お店といった事業者が、障がいのある人に正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止することです。また、「合理的配慮の提供」とは、同じく役所や事業者が、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除く対応を求められたとき、負担が重すぎない範囲での対応（もしくは対応する努力）をすることと定められています。

（事務局）

平成二十八年年度 事業計画等を決定

千木良会長挨拶で始まった総会は、来賓の紹介・挨拶などの後、さっそく議事に入りました。まず第1号議案「平成二十七年事業報告」が承認され、続いて第2号議案として、選出団体の役員交代などに伴い、佐伯馨さん（武庫地区小・中学校連合育友会人権担当）、津田剛生さん（尼崎市社会福祉協議会武庫支部副支部長）の二名が新たに副会長に選出されました。最後に第3号議案「平成二十八年事業計画」が提案どおり承認され（下の表参照）、無事終了しました。

総会終了後、特別講演会を



（事務局）

平成28年度事業計画

●研修会

武庫地区人権啓発推進委員会の推進委員、協力委員、人権啓発リーダーの皆さんを対象に実施します。

- ・特別講演会（6月8日）
- ・人権啓発リーダー研修会（7月21日）
- ・各種団体合同研修会（10月中旬、2月中旬）

●人権週間の取り組み

12月4日～10日の「人権週間」の期間中、様々な啓発活動に取り組みます。

- ・啓発パネル、ノボリの掲示（12月1～10日）
- ・街頭啓発活動（阪急武庫之荘駅南北）
- ・街頭啓発用啓発チラシ袋詰め作業及び啓発ビデオ鑑賞（11月）
- ・武庫地区人権問題講演会（12月）

●市民啓発紙武庫しののめの発行

武庫人権推の事業や、人権啓発に係る記事・情報を、武庫地区管内に新聞折込等で配布します。

- ・年2回発行（9月、3月）

視点



目をあわせる

赤ん坊は肌のふれあい、スキンシップによって集団欲を満たし、だっこしたりおんぶしたりするときの皮膚の圧迫によって赤ん坊の心は母親の中に溶け込み安らいだ心で育っていく。赤ん坊をしつけるにしても、子供を教育するにしても、しつける親としつけられる赤ん坊との間で、または教えられる子どもと教師との間で、心の連携がなければ、その効果は期待できない。

私たち人間は、言葉や文字を発明し、それを活用してきめ細かい人間関係を作って集団欲を満たしているが、言葉や文字よりもより高次な手段が目、すなわち視線、まなざしではないだろうかというようなことが、時実利彦氏の本に書かれていた。

「目は口ほどにものをい」とよく言われますが、一日のうちで本当に目をあわす人は何人いるだろうか、また、自分はどれぐらいの時間、しっかりと目をあわせて話をしていいるだろうかと考えてみた。

しっかりと視線をあわせる。大事なことだと思いが、できているようで、なかなかできていないのではないかと思う。

（長田 光司）



高齢者の居場所づくりは地域づくり

今、高齢者の地域の居場所・つどい場活動が全国で注目されています。武庫地区でもふれあい喫茶や老人給食、健康づくりの百歳体操など、さまざまな高齢者の居場所・つどい場の活動が行われています。

介護保険が改正され、すべての高齢者を対象に社会参加することが介護予防になるというコンセプトのもと、体操教室やつどい場など、高齢者が気軽に通える居場所を地域に増やしていくことが目指されています。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるには、地域の居場所として、参加したくなるような場、また、介護が必要になっても参加

できる場がどれだけ地域にあるのかが大きな鍵となります。集える居場所が地域にあることで、そこで新たな高齢者同士の結びつきができ、それをきっかけとして、助け合いや支え合いの関係が生まれます。これはまさに地域住民を巻き込んだ地域づくりです。

地域の居場所・つどい場は、住民同士の仲間づくりとして、また、それぞれが役割を発揮できる場として自発的に行われることが大切であり、そして、地域の居場所・つどい場が、「社会参加」と「社会的孤立の予防」を目的として機能することが重要となります。特に「社会的孤立」の問題

は、深刻な地域課題となっています。SOSを出せずに居場所を失い、孤立する人たちが地域の中で増えてきています。そして、これまで地域の居場所・つどい場に来ていた人が要介護認定を受けてサービスを利用し始めると、地域との関係が切れてしまい、「支援を受ける側に固定され、地域とのつながりや支え合いが弱まることで孤立する人がますます多くなっていきます。

私たちが目指す地域の居場所・つどい場は、元気な高齢者だけが参加し、役割を発揮できる場所ではありません。地域のひとと人をつなぎ、居場所を失い、社会から孤立する人を防ぐことが重要で、たとえ認知症となっても介護が必要となっても、その人の存在そのものが認められ、肯定される居場所・つどい場です。その場

所で地域に暮らす人同士が出会い、一人ひとりの存在を認め合う居場所であり、それは、すべての人に出番があり、役割が発揮できる地域づくりでもあります。

誰もが気軽に集える高齢者の居場所が、地域の人をつなぎ、次の世代への架け橋となり、社会的孤立を防ぐ地域づくりの拠点となります。そんな素敵な居場所が、皆さんの地域にも拡がっていくよう、皆さんと共に頑張っていきたいと思います。

社会福祉協議会武庫支部
地域福祉活動専門員

上林 宏光



世代間交流の場を作る 尼崎のホタル

皆さん、尼崎市内でホタルが観賞できる場所が三カ所もあるのをご存知ですか。

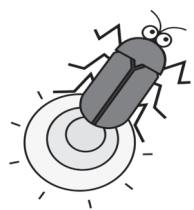
しかも、真正正銘市内で生まれ育った源氏ホタルです。場所所は「宮の北団地横」「西武庫公園周辺」「園田地区猪名川流域」で、十数年前から大切に保護を続けて下さったボランティアの皆様のおかげです。

五月末から六月初旬に掛けて多くの皆さんが観賞に来られます。

西武庫公園の場面をご紹介します。西武庫公園西の武庫川下の小川に初夏を告げるホタルが飛び交います。おじいちゃんおばあちゃんに手をひかれた子供達。初めて見るホタルに興奮気味です。おばあちゃんが孫にホタルの話をする。子供はその話に聞き入っておりま。日頃は邪魔者扱いされているお年寄りもこの時ばかりは自慢顔。孫は話を聞いて、「おばあちゃん凄い！」。こんな光景があちこちで見られます。自然と世代間交流が実を結んでいる瞬間です。

そういえば昔はこんな風景って何処でも見られましたね。でも今ではすっかり影

を潜めました。世代間での話題が無いんでしょうか。見知らぬ人同士がホタルという不思議な生き物をみて、すぐに顔見知りになり、話が弾み、語り合っている。世代間交流なんて難しい言葉は要らない。ホタルさえ居れば簡単にできてしまう。尼っこホタル達は私達に大切なものを教えてくれているのかのように、精一杯短い命の晴れやかな姿を見せてくれております。



どうか皆さんも来年は是非家族共々観賞においで下さい。きつと気づかなかった家族の絆を見つけれられることでしょう。

西武庫公園ホタルの会事務局長
千木良 昌彦

子ども会を ご存知ですか？

むかしはあったけど、今はなくなっちゃった…。と思っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

たしかに、町会子ども会で現在は活動を続けていくのが難しくなり、停止や休会中という子ども会も多くありました。武庫地区子ども会を中心、一部の町会子ども会、自身の子どもの会も立ってしまつた子ども会も好きなおじいちゃん、おばあちゃん達が頑張っているのです。

今年度は、四月の総会で始まり、昨年度で多くの子どもが退会した為、五月には武庫公民館で武庫東小学校の子どもを対象に、的あて、コイン落しなどのゲームで遊ぶお楽しみ会を実施した所、たくさんの方が入会されました。

続いて同月のバス遠足では、「兵庫楽農生活センター」に行きクラフト体験と農業について学び、西武庫公園で行われた「蜚観賞の夕べ」では、スーパードールすくい、くじ引きなどの出店を行いました。

夏休みに行う芦屋浜でのカヌー大会と吹上公園の盆踊り大会の出店、オセロ大会、武庫地区おやこまつりなどは、恒例行事となりました。



今年度は、お芋ほり大会、ふれあいひろば武庫21、武庫地区仮装大賞、おもちゃつき大会、スケート大会などを他に予定しています。

これからも、子ども達の笑顔で元気をもらいながら活動を続けていきたいと思っています。

武庫地区子ども会連絡協議会
柴田 珠美

武庫しののめ

編集委員

千木良 昌彦
原田 豊
佐伯 馨
辰己 かおり
柴田 珠美
奥田 淳子
三澤 雅俊
長田 光司
是枝 周二
阪上 敏郎

<入会のご案内>

- ・年齢：3～15歳
- ・年会費：500円

お問い合わせ先

090-7093-2456
(高田まで)

mukokodomokai@gmail.com